

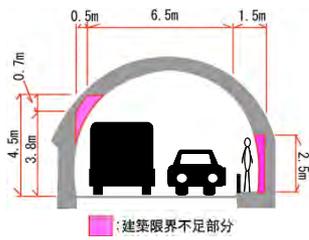
トンネル撤去により利用時の安全・安心が向上

- ・勝木トンネルは昭和40年の竣工から40年以上経過し、老朽化が進んでいた。
- ・建築限界不足のトンネルが撤去されたことで、新潟と庄内・酒田を結ぶ物流ネットワークが強化。
- ・山北地区住民にとっては、自動車のみならず、歩行や自転車通行の安全・安心が飛躍的に向上。



改良前の状況

勝木トンネル: 昭和40年竣工、延長98m



現況トンネル断面図

中央線をはみ出すトラック



改良後

トンネル撤去区間

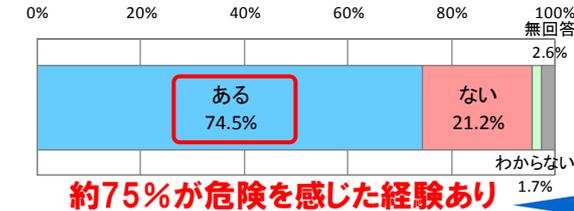
至山形

至新潟

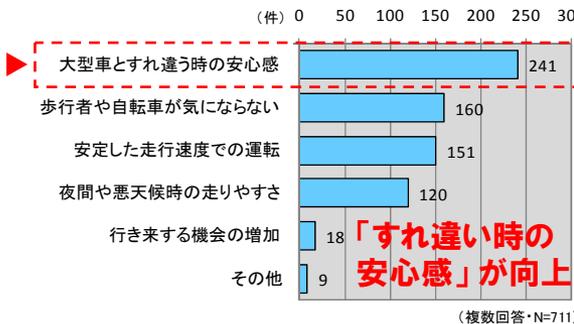
勝木トンネル撤去に関する地区住民アンケート

- 期間: 平成23年3月1日(火)～3月14日(火) ※14日間
- 対象: 国道7号勝木改良事業区間の日常的な利用者である村上市山北地区4地区(府屋、碁石、勝木、間瀬)の住民計681世帯
- 結果: 回収数303通(回収率44.5%) ※集落総代による各戸配布、郵送回収

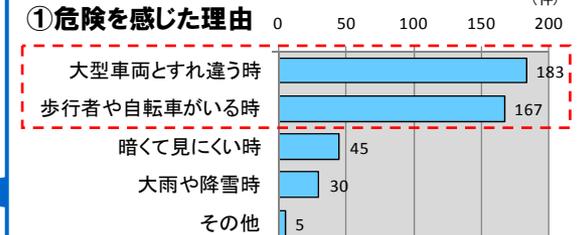
1. トンネル撤去前に危険を感じた経験



2. トンネルの撤去でもたらされた効果

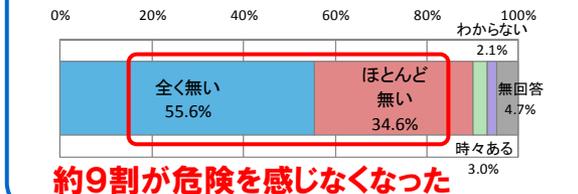


「ある」と答えた方への質問



「大型車とのすれ違い」や「歩行者・自転車の存在」が多数

②撤去後の危険



地域の声



東日本大震災後、国道7号で大型の救援車両をよく見かけました。勝木トンネルがあった頃、トンネル内での大型車とのすれ違いにはとても危険を感じていたので、震災前にトンネルが撤去されていて大変助かりました。

(村上市山北支所 産業建設課)

東日本震災前後の交通量(大型車)

